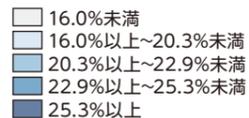


高齢者の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

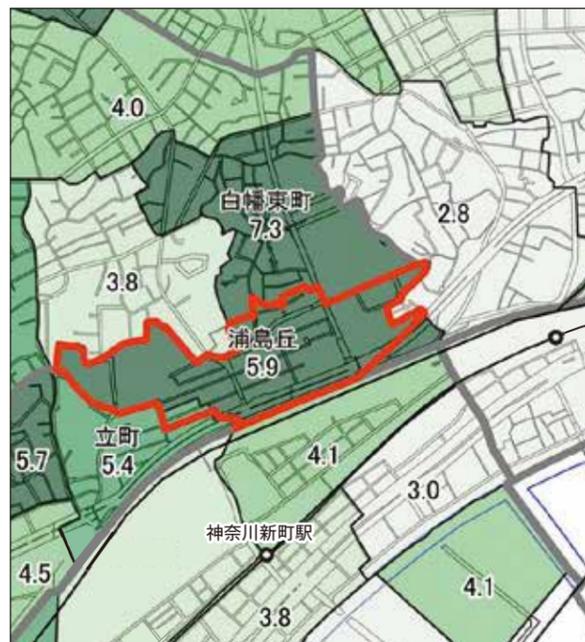
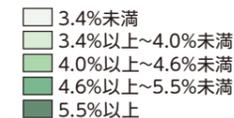
高齢者(65歳以上)比率(%)



未就学児の分布

※住民基本台帳による、令和3年3月時点

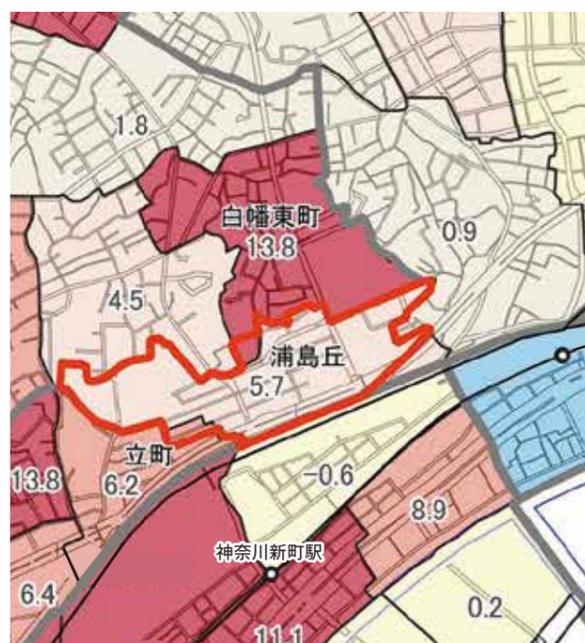
未就学児(0～5歳)比率(%)



人口増加率

住民基本台帳による、平成28年3月及び令和3年3月時点

人口増加率(%)



※区の高齢人口比率は、**22.0%**です。(令和3年3月時点)  
 ※区の未就学児(0～5歳)の比率は、**4.5%**です。(令和3年3月時点)  
 ※区の人口増加率は、**2.9%**です。(令和3年3月時点)  
 ※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。  
 ※人口増加率は、町丁別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。  
 ※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

この計画は、住み慣れたまちで安心して暮らせることを目指し、地区内の様々な人・団体の想いが込められています。

区の計画や他地区の計画は、区HPをご確認ください▶



# “みんなが”つながりあって、安心なまち 浦島丘

- 地区センター・公会堂・集会所
- 地域子育て支援拠点
- ⊕ 病院
- 地域ケアプラザ
- 福祉施設
- 小学校
- 中学校

- 樹林地
- 農地・農業施設用地
- 都市公園
- 文教厚生用地



地区概要

斜面上にある住宅地です。区域の南側は国道1号線に接しています。戸建て住宅の他、県営住宅の団地などがあります。地区に近接して、京急線の子安駅、神奈川新町駅があります。

人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	浦島丘地区	神奈川区
総人口	1,664人	241,561人
0～14歳	222人(13.3%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	1,060人(63.7%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	382人(23.0%)	53,136人(22.0%)

	浦島丘地区	神奈川区
総世帯数	799世帯	128,838世帯
平均世帯人員	2.08人	1.87人
65歳以上ひとり暮らし世帯	129世帯(16.1%)	18,089世帯(14.0%)

## これまでの取組



浦島丘連自治会  
田中 康治 会長

まちのつながりを大切に「夏祭り」や「クリスマスお楽しみ会」などを行っていますよ。令和元年度にはまちのみんなの趣味を披露する「作品展」を初めて開催し、子どもたちを含め、幅広い年代からの出展がありました!



浦島丘連自治会  
塚田 國男 副会長

毎年浦島小学校で実施する「防災訓練」では、子どもたちが楽しいと感じられるような企画を考えています。



浦島丘地区社会福祉協議会  
前原 郁子 会長

浦島丘中学校生を対象に、高齢者の疑似体験ができる「福祉体験」なども行っています。



神西浦島丘地区  
西山 智香 主任児童員

近隣地区の主任児童委員と協力し、「子どもおたのしみ会」を開催しています。みんな、遊びにきてね!



▲「夏祭り」

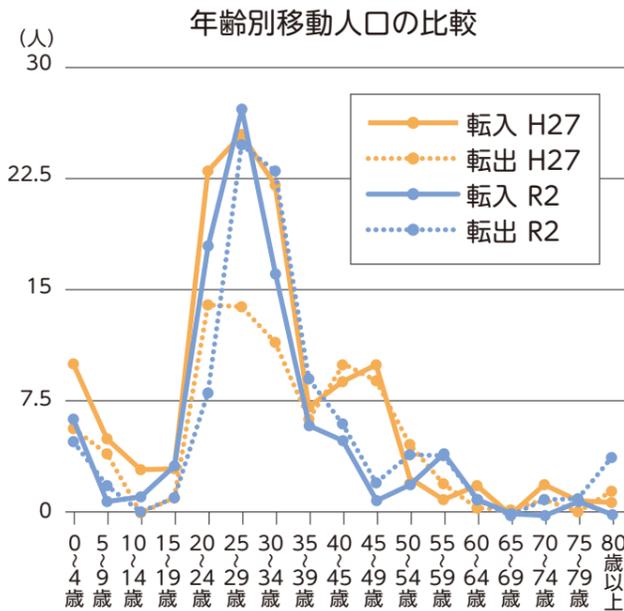


▲「趣味の作品展」

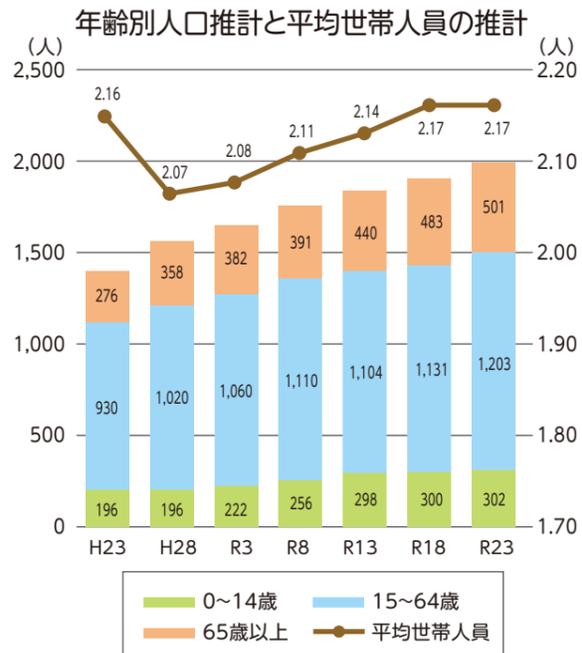


▲「子どもおたのしみ会」

## 地区状況①



※各年の住民基本台帳(3月)



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計

# “みんなが”つながりあって、 安心なまち 浦島丘

## こんな浦島丘って、いいな

- ①誰もが安心して暮らせるまち
- ②災害に強く安心なまち
- ③誰もがつながりあうまち

## 帆1 (目標①)

住民同士で支え合える  
仕組みづくりや、  
誰にでもできる“気づき”と  
“見守り”活動をすすめます!

- 身近な場所で集える場や機会をつくり、顔見知りの関係を広げていきます。
- 挨拶や声掛けなどを行うことで、ご近所のことを気に掛け合う関係をつくりまます。
- 子ども会やかめっ子への参加を呼びかけるとともに、子どもたちが安心して集える機会や場所をつくりまます。

## 帆2 (目標②)

防災・減災体制を強くし、  
防災意識を高める  
取組をすすめます!

- 浦島丘地区防災・減災対策委員会の取組を継続します。
- 災害が起きたときにお手伝いが必要な方を支援するための体制づくりを検討します。
- 防災に対する住民の意識を高めるために勉強会や研修会などを実施します。

## 船体 (目標③)

子どもから高齢者まで、浦島丘で暮らす全ての住民がつながるための工夫をします!

- 防災訓練に子どもが楽しむ企画を盛り込むなど、子どもや子育て世代が行事に参加したくなる工夫を行います。
- 小・中学生がまちの活動に参加できるように、学校に働きかけを行います。
- 行事やイベントを行う情報は、口コミ・ポスティング・SNSなど、様々な伝え方を工夫し、たくさんの住民が参加できるようにします。